

2023 年慰安旅行 in 鹿児島

2023.11.2

2023 年 11 月。

コロナ禍の影響で中止していた慰安旅行が、3 年ぶりに帰ってきた！！

ということで、旅行記を書きたくて、書きたくて、書きたくて仕方がない技術部社員が、

前回 EMO の報告書に引き続き、つらつらと今回の慰安旅行を紹介させていただきます。

慰安旅行を検討されている企業の担当者様。どこに旅行に行こうか迷っている、その老若男女。

そんな悩める方々に、少しでも参考になればと思います。

それでは早速出発から…。



伊丹空港 9：30 発の飛行機。

右は国内線機内の写真。ドイツへの国際線エコノミー席
とくらべ、かなりゆったりしたスペース。

乗客がリチウム電池を機内に持ち込んだとのトラブルで、
30 分以上の遅れで出発。 リチウム、ダメ、絶対！





あつ、あれは！桜島！

ということで、約 50 分で鹿児島上空に到着。

遅れた時間を取り戻すべく、機長さんが大急ぎで飛ばしてくれた模様。さすが俺たちの JAL。

離陸前もそうでしたが、飛行機が遅延したことによる謝罪が、3、4 回ありました。

ドイツでの交通機関は遅れて当たり前。もちろん謝罪のアナウンスなど全くありません。

日本の交通機関の時間厳守精神と、サービスは世界一です。

無事、空港に到着。そしてさすがの鹿児島。

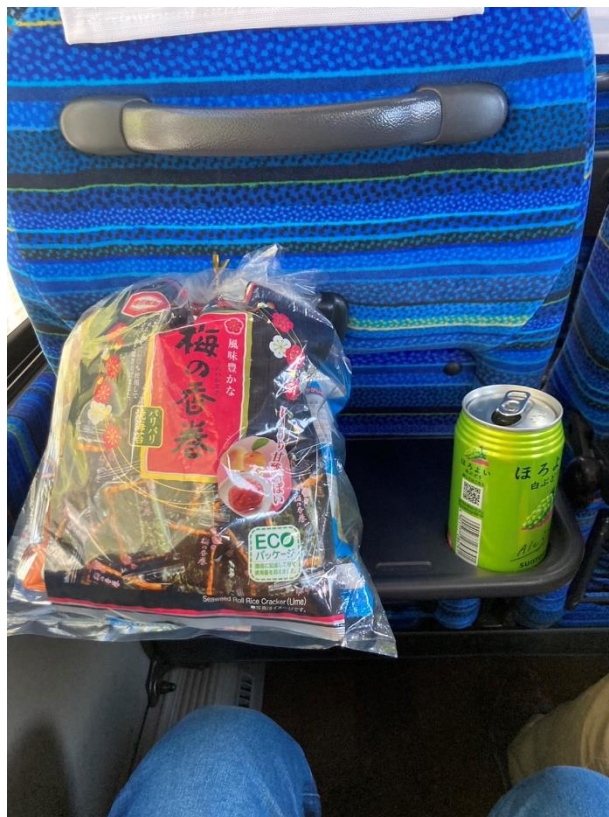
空港でも芋焼酎の広告がお出迎えです。



今回お世話になるのは鹿児島中央観光さん。

今回観光するルートを、分かりやすく絵で作成しております。感謝。

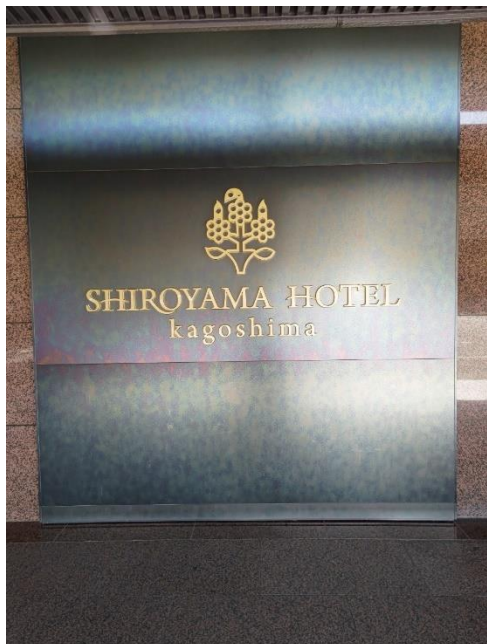




車内ではガイドさんがいろいろな観光地の案内をしてくれます。

そして弊社慰安旅行のお約束。お酒とおつまみが支給されます。お酒は飲み放題です。やつぱー！

バスの中はトイレも完備されていますので安心。安心。



酔いどれ従業員一行の最初の訪問地は「城山ホテル鹿児島」。

4つ星ホテルで美味しい昼食をいただきます。

豪華でもりださんの会席料理。いただきます。





昼食後は少し時間があつたので、
ホテルの横の展望台から桜島を眺めることに。
天気にも恵まれ絶景です。



ここにくるまで車中から桜島が見えていましたが、
皆様にこれだけはお伝えしたい…。
思っているより桜島は「大きい」です。
そこは現地に行かないと伝わらないかもしれませんが、
鹿児島島のシンボルとなる活火山は伊達じゃない。





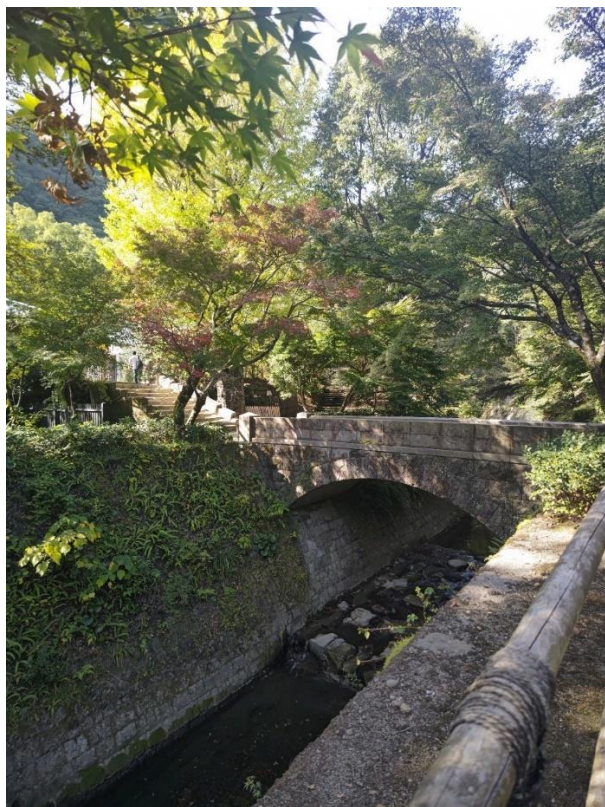
名勝 仙巖園

4つ星ホテルから向かった先は、島津家別邸「**仙巖園**」。

鹿児島島にある日本を代表する大名庭園だそうで、鹿児島を代表する観光名所とのこと。

ここからは鹿児島のシンボル「桜島」がきれいに見え、薩摩の殿様と姫君が愛した理由がよくわかります。





邸内は有料ではありますが中に入り見学もでき、七五三、成人式、結婚写真などの撮影プランもあるそうです。

隣接地には島津家に関する史料を展示する博物館「尚古集成館」なる館や、薩摩切子の製造を見学できる工場もあります。

右写真は園内売店で販売されている、ちょっと変わり種の「芋焼酎ソフトクリーム」。

ほんのり焼酎の香りが、グッドスメルです。

趣ある庭園と、現存する御殿。

御殿は幕末明治には迎賓館となり、国内外の賓客が訪れたとか。





指宿白水館

そして、そして、本日宿泊する4つ星ホテルの「指宿白水館」へ到着。

滲み出る風格。伝統と格式を備えた日本旅館です。

私が外国人なら、「Wow!」だとか、「Cool!」だとか言っているに違いありません。

下写真は、玄関とお部屋風景。 実に趣がありますね。



旅館の温泉は「松雲風呂」、「元禄風呂」の大浴場が2つ。

ただ、今回は「松雲風呂」がメンテナンス中とのことで、右写真の「元禄風呂」のみでした。



左上写真は旅館の目玉である「砂むし風呂」です。

写真の人物は弊社従業員、「浪速のニコール・キッドマン」と、O女史。

ご本人の希望により、ご尊顔は隠させていただきました。

肝心の効能ですが、砂むしに入ると心拍量が増え、体の深いところの体温が上がるそう。

結果、血液循環がすすみ老廃物の排出や炎症性・発痛性物質を洗い出し、十分な酸素栄養を供給することによって人の体をリフレッシュさせるのだとか。砂むしの効果は普通の温泉の3～4倍だそうです。

入っている時間の目安は大体10～15分ぐらいが目安だそうです、結構キツイ…。

顔以外は高温サウナに入っているイメージです。10分も入っていると大量の汗でビショビショに。

砂むし風呂から上がると、併設しているシャワールームで砂を流し、「元禄風呂」でお風呂に入る流れになります。

「砂むし風呂」と「元禄風呂」で、充分に心も体も癒されました。

実にいいおかし。



上写真は旅館の晩御飯を撮影したもの。に、弊社従業員の足が映り込むというファインプレー。（泣）

静と動。美と醜。相反する物が映り込むことによって、料理が引き立ちます。はい。

写真右は、な、な、なんと！幻の芋焼酎、3Mと言われるうちの一つ。「森伊蔵」。弊社総務部から従業員へ5本もサプライズ！もちろんあっという間に無くなりました。

まさか、慰安旅行で「森伊蔵」をいただけとは思いませんでした。味のほうは…。ぜひ、飲んでみてください！

しかし幻の焼酎と呼ばれる名酒が在庫としてあるとは

「指宿白水館」さん、恐れ入りました。





館内を散策すると、いくつかの調度品が展示されている区画もあり、ちょっとした美術館のよう。歴史的調度品に興味があれば、敷地内にある「薩摩伝承館」と合わせてどうぞ。そちらは、ミシュラン・グリーンガイド一星獲得だそうです。





下の写真は将棋の「竜王戦」会場に選定された場所。

三度の飯より将棋が好きな私からすると、万感の思いで目頭が熱くなります。いやほんとに…。

よく手入れされた庭と中庭。緑色のライトアップがよく映えます。お風呂上りの火照った体に、薩摩の風が心地よく、いつまでも居たい心境になります。



写真左下はご当地ラーメンがいただけます。ただ、人気のためか、1時間待ちとのこと。断念。

写真右下は焼酎バーです。さすが鹿児島。

1次会で飲酒過多のため今回はスルー。

いや広い。1日旅館内で充分過ごせそうです。





2 次会会場、クラブ鹿鳴館。

ここではお酒もそうですが、ダーツなどの各種ゲームもあります。

コンパニオンの方も 1 次会から引き続きご参加いただいております。

盛り上げていただき感謝。感謝。

そして、1 次会の「森伊蔵」で皆のテンションが上がったせいか、飲みすぎで弊社従業員の 1 人がダウンしたとか、しないとか。

「酒は飲んでも、呑まれるな」。

「酒極まれば、即ち乱る」、「酒はなお兵のごとし」などなど、紀元前 1 世紀から酒の飲み方を戒める言葉はありますが、

なかなかどうして難しい。先人の言葉には深みがあります。ゆめゆめ、気ヲツケス。

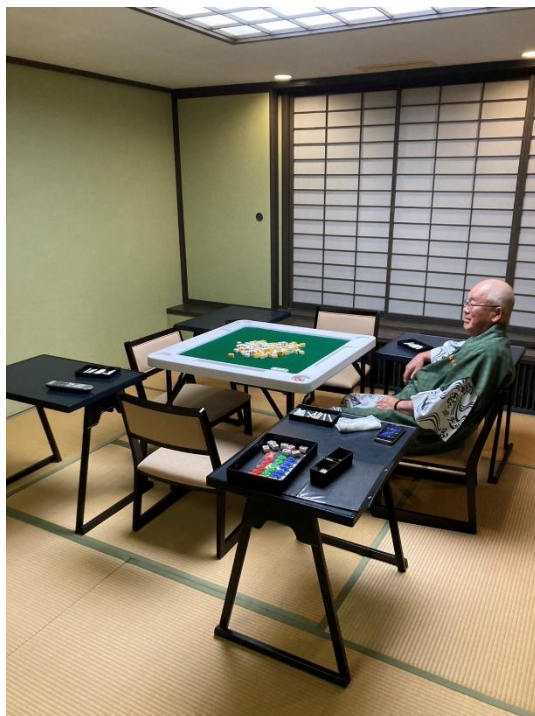


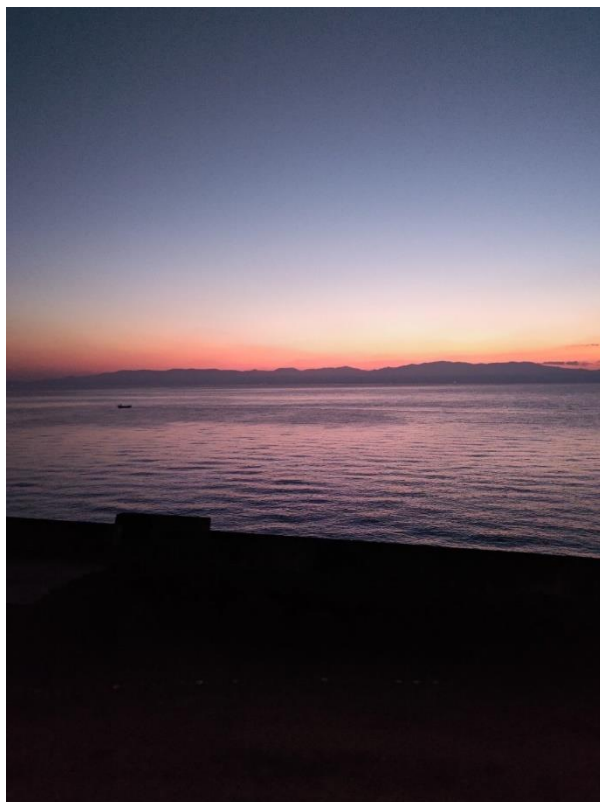
弊社恒例、3 次会会場？

麻雀卓にお酒、おつまみを添えて。の、部屋です。

麻雀をする者。3 次会を始める者で別れます。

ワタクシは麻雀派。結果は惨敗。グエー。諸行無常の響きあり…。





素晴らしい朝焼けの景色。

2日目のスタートとしては100点満点です。

昨日の負けこんだ夜が嘘のよう。

頬を熱い涙が伝いますが、何事も切り替えが肝心。

心機一転で2日目のスタートです。

右写真は朝食会場。

7時にはすでに御覧の混雑模様。

ビュッフェ形式で自由に取ってきて食べるスタイルです。

で、気になったのが旅館スタッフは皆外国人。

この少し前に群馬県の安中市に出張で行ったのですが、
そこで泊まったホテルスタッフも外国人が多かったです。



どうもこういった旅館、ホテルのサービススタッフは、日本人の就業率が低いようでどこも人手不足だとか。



結果、外国人労働者に頼らざるを得ない。というわけです。

外国人労働者の皆さまがどう。ということではないのですが、少し悲しい気持ちになるのはワタクシだけでしょうか？

左写真は朝ごはんの写真。

写真にはないのですが、個人的には「カツオみそ」がすごく美味しかったです。

後は「明太子」。ごはんが何杯でもいけちゃいます。（ハート）

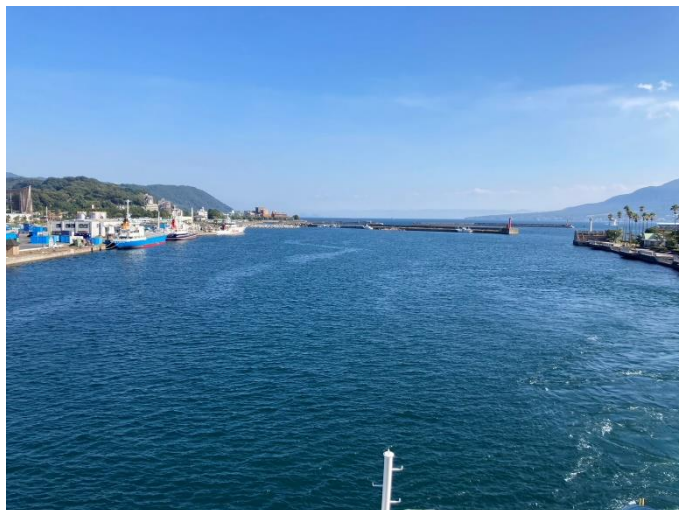


「指宿白水館」さんは、これにてお別れ。本当に、本当に良い旅館でした。

砂風呂、温泉、部屋、施設。どれをとっても最高でした。お世話になりました。

そして 1 時間のバス移動で鹿児島港へ。

船にバスごと乗り込み、鹿児島シンボルの「桜島」へ。



今日も天気は快晴。

11 月だというのに T シャツで問題なさそうな陽気で、さすが鹿児島。ということでしょうか？

ササッと朝風呂とお土産コーナーの物色を済ませ、
9 時 10 分には集合場所のロビーへ。

ただ、誰も居ない…。

と思ったら、皆すでにバスへ乗り込んでいた模様。

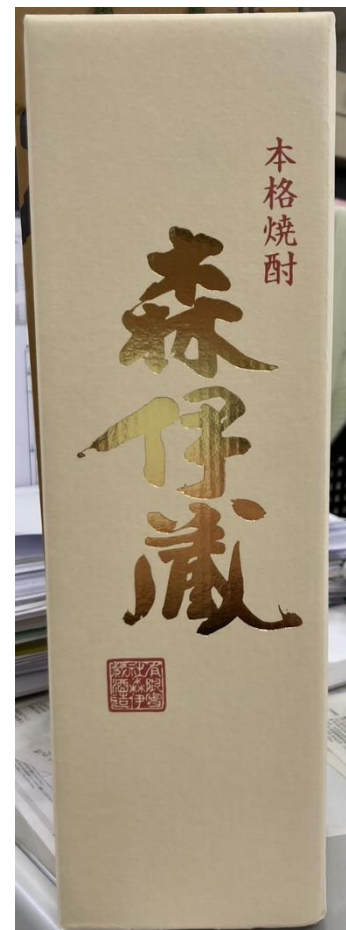
ワタクシも急いで乗り込みます。

そして下写真。

そう、買ってしまいました…。

お土産で万を超える品物を！

もう、おじかもんなか！（もう、怖いものは無い）





「桜島丸」船内駐車の様子。

写真中央が、我らが観光バスです。

15 分ほどの船旅ですが上階のデッキへ向かいます。



船内では TV で紹介されたほど美味な「うどん」が販売されているとのこと。ただし、桜島上陸後すぐに昼食とのことで、今回はスルー。

Oh my God.

言葉は無粋。

雄大にして、

壮大。

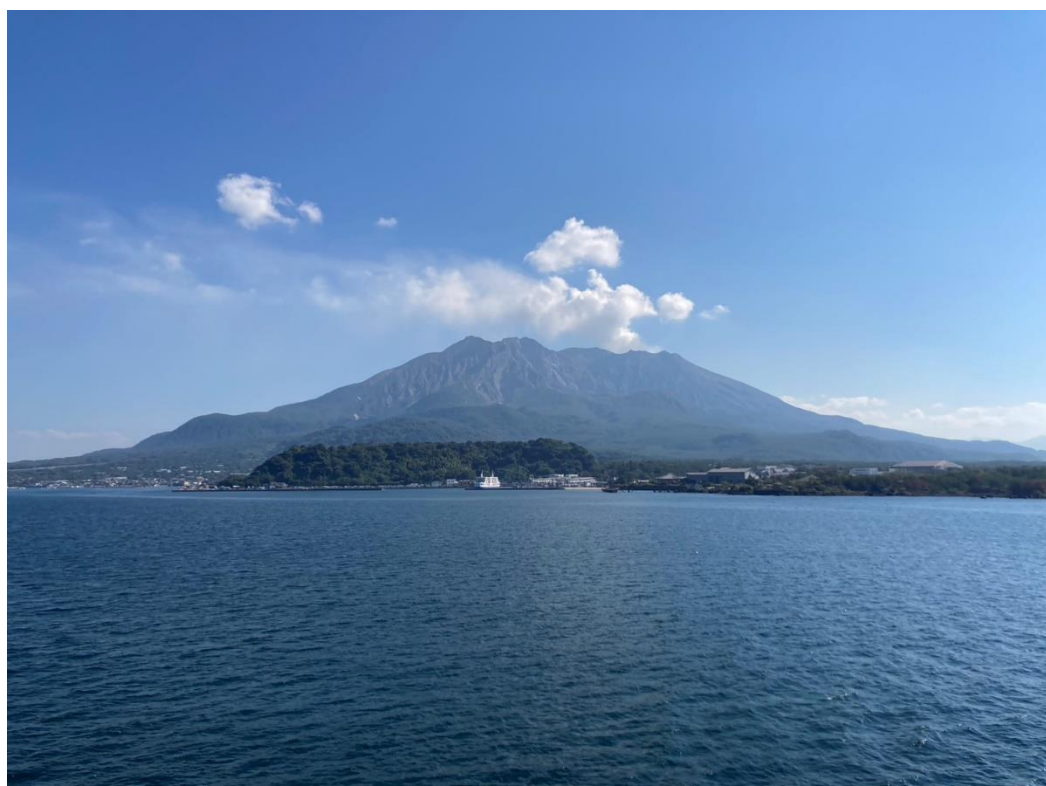
荘厳にして、

壮麗。

壮観にして、

偉観。

チエケラッ！





有村溶岩展望台

上陸後は 30 分ほどバスを走らせ、「有村溶岩展望台」へ。1941 年の大爆発で流出した溶岩原の小高い丘にあり、360 度広がる眺めが望めます。



溶岩と避難壕のようなアーチ状の建物。桜島の道路のいたるところで目にしました。噴火の際の避難場所だそうです。



写真右は壺畑。下写真は黒酢入りソフト。

酢の独特の香りは抑えめで、ミキプルーンみたいな印象でした。（※個人の感想です）

黒酢の郷 栂志田

有村溶岩展望台からバスで 30 分。

TV 番組やメディアでも取り上げられ、注目されている黒酢だそう。最低でも 3 年壺の中で熟成させることにより、独特の色、味、香りになるとのこと。

もちろんそれを実現させるには、この霧島市の温暖で寒暖差がない気候が重要だそうです。

黒酢にもたくさんの種類がありましたが、その中でもフルーツ黒酢は癖が少なく、お酢が苦手な人も大丈夫。かも。



下写真のお肉は、日本一に輝いた「牛の中山」A5 ランクのお肉。控えめに言って「絶品」です。ごちそうさまでした。





霧島神宮

黒酢の郷よりバスで 1 時間。次に到着したのは霧島神宮。

令和 4 年 2 月 9 日に国宝に指定されたそうです。

囲碁の名人戦も行われ、霧島国際音楽祭などのイベント会場としても使用されているようです。なかなかマルチな神社です。

皆さまご存じの「坂本龍馬」が、奥さんの「おりよう」と新婚旅行で来たとのことですよ。

ワタクシもせっかくなので参拝しようと思ったのですが、上の写真の通り参拝するための列が長い。とてもバスの発車時間までに間に合いそうにもありません。

不敬ではありますが、少し離れたところから参拝させていただきました。 神よ、お許しください。アーメン





はい。ということで霧島神宮から鹿児島空港へ到着。

空港では皆、思い思いにお土産を物色し、飛行機を待つことに。東京支店の皆さまとはここでお別れ。



2 日目は少々駆け足気味ではありましたが、実に充実した旅行だったかと思います。楽しい時間は早く過ぎます。

そして現在閲覧されている皆様。

HP に訪問し、なおかつここまで駄文にお付き合いいただきまして、まことにありがとうございます。

これまでの駄文が、もしかして何かの役に立てば幸いです。 また逢う日までさようなら。

そして最後に個人的なレポートを一点。

右写真は空港内で店を構える「月よみ」さんの「THE 鶏そば」。白湯スープのシンプルなラーメンで味もシンプル。ただ、変わり種の調味料、「トリュフオイル」を数滴垂らすことで激変。絶品ラーメンに早変わり。ラーメンが好きな方は、ぜひ一度ご賞味あれ。

